

大使館便り

第195号 令和元年6月5日
在ポルトガル日本国大使館

1. 新美大使からのご挨拶

またまたサッカーの話ですみません。先日行われたサッカー、ポルトガル杯決勝スポルティン
グ対ポルトの試合、当国サッカー連盟会長より御招待頂く幸運に浴し、観戦して参りました。試
合は御案内の通り、PK戦にまでもつれこむ好試合でしたが、会場には大統領、首相、国会議長、
リスボン市長等、要人がこぞって見えており、この国にとってサッカーが有する意味、重さを感じ
させられた次第です。

サッカーは世界の共通語と評されることがありますが、ポルトガルに来てそのことを痛感して
おります。ベンフィカが来日した49年前の思い出は以前お話させて頂きましたが、当国サッカ
ー連盟のウンベルト・コエーリョ副会長は来日メンバーの一員として日本代表との試合に出場さ
れており、私が長いこと保存してきたその試合のプログラムを見せたら、とても驚いて、来日時
の思い出を懐かしそうに語ってくれました(実は、一行が宿泊するホテルにまで友人と押しかけ、
色紙にエウゼビオはじめ選手達のサインももらいました。駐ポルトガル大使の内示を受け、赴任
前に実家の物置きを探したのですが、色紙の方は残念乍らみつきませんでした)。また、ポル
トのモレイラ市長と懇談した際は、1987年12月、東京で行われたトヨタ・カップ、FCポ
ルト対ペニャロール(ウルグアイ)の大雪の中での伝説的な死闘の話で盛り上がりました。因み
に、私がこちらに着任した際、大使館の館員達から、「サッカーの話をする時は、エウゼビオの
名は出して良いが、ベンフィカというクラブ名は軽々に出さない方が良い。相手の方がライバル・
チームのサポーターの場合、逆効果となるから」、とのアドバイスを受けました。初めは半分冗
談に思っていたのですが、実際、ベンフィカの名を出した途端、露骨に不快感を示される経験をし、
今では、相手の方の応援するクラブ名を確認してからサッカーの話をするよう心掛けており
ます。

ところで、近く当地で18才以下の代表チームによるサッカーの国際大会が開催され、日本代
表も参加します。6月9日にポルトガル代表、13日にノルウェー代表と対戦の予定で、日本サ
ッカーの明日を担う若い選手達の活躍が大いに期待されます。この大会は今回が25回目で、日
本は以前からこれに参加しており、また、周知の通り女子のアルガルヴェ杯にも例年日本代表が
参加しているところです。比較的目立たないかもしれませんが、日本サッカー界がポルトガルよ
り受けている恩には大なるものがあり、感謝の念に堪えません。

2. 政治・経済関係

(1) 欧州委員会による2019年春期経済見通し

5月7日、欧州委員会は、2019年春期経済見通しを発表したところ、ポルトガルにおける本年の実質GDP成長率1.7%（前回2月同様）、失業率6.2%（同6.3%）、インフレ率1.1%（同1.5%）、経常収支（対GDP比）▲1.0%（同0.1%）、財政赤字（対GDP比）▲0.4%（同▲0.6%）と公表しました。

（2）2019年第1四半期失業率と実質GDP成長率

5月8日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2019年第1四半期（1-3）の失業率が6.8%（前期比0.1ポイント増；前年同期比1.1ポイント減）と発表しました。失業者数は35万3,600人（前期比1.3%増；前年同期比13.8%減）で、このうち、若年層失業率（15～24歳）は17.6%（前期比2.3ポイント減；前年同期比4.3ポイント減）の6万4,600人です。男女別失業率では、男性が6.0%、女性が7.6%。また、地域別失業率では、アルガルヴェ地域（9.4%）、アソーレス自治州（8.4%）、リスボン首都圏（7.8%）及びマデイラ自治州（7.0%）がポルトガル全土平均を上回り、北部地域では平均（6.8%）を記録し、アレンテージョ地域（6.3%）及び中部地域（4.9%）のみが平均を下回りました。

また、INEは5月31日、第1四半期（1-3）の実質GDP成長率を前期比0.5%増、前年同期比1.8%増と発表しました。GDP成長率のうち、総固定資本形成に関連する投資が急速に伸びたことにより、内需の寄与度が前期比4.8%増加しました。他方、財貨・サービスの純輸出は物品・サービスの輸入が輸出より急速に増加したため、寄与度は▲3.1となりました。

（3）フィッチ社、ポルトガル国債の格付け見通しを引き上げ

5月24日、格付会社フィッチ社はポルトガル国債の信用格付を投資適格級の「BBB」を維持し、格付見通しを「安定的」から「ポジティブ」に引き上げました。同社は、近年のポルトガルの公的債務残高対GDP比が2014年のピーク時の130.6%から2018年末の121.5%まで削減されたことを評価する一方で、その他の「BBB」国と比べると、ポルトガルの公的債務残高GDP比が高額であることを指摘しました。また、同社は、ユーロ圏の経済低迷の影響により、2019年及び2020年、ポルトガルは貿易赤字を記録する見込みであるとの懸念を示しました。

（4）欧州議会選挙結果

5月26日、当国で実施された欧州議会選挙において、与党社会党（PS）が得票率33.38%（9議席）で、最大野党の社会民主党（PSD）の得票率21.94%（6議席）を大きく上回りました。政府と閣外協力関係にある左翼連合（BE）は得票率9.82%（2議席）で前回より2倍以上に得票を伸ばして1議席を増やした一方、統一民主連合（ポルトガル共産党・緑の党）（CDU）は得票率6.88%（2議席）で逆に得票を半分に落とし、1議席を失う結果となりました。また、前回の選挙でPSDと連合を組んだ民衆党（CDS）は得票率6.19%で1議席を維持し、現在ポルトガル議会では1議席の人と動物と自然の党（PAN）は5.08%の得票率（1議席）で初当選しました。欧州議会におけるポルトガルへの配分議席は21席です。

（5）ポルトガル政府、「パンダ債」を発行

5月30日、ポルトガル国庫公債管理庁（IGCP）は、20億人民元（2億6,000万ユ

一口)、年限3年の人民元建て債券(パンダ債)(利回りは4.09%)を発行し、応札倍率は3.165倍となりました。パンダ債発行の引受主幹事は中国銀行及びHSBC銀行が務め、ポルトガル貯蓄銀行(CGD)傘下のCaixaBI投資銀行は財務アドバイザーとして参加しました。ポルトガルはユーロ圏の中で初めてパンダ債を発行した国となり、EU加盟国の中ではポーランド、ハンガリーに次ぐ3番目の国となりました。

3. 広報・文化関係

(イベント)

●第13回国際漫画賞の作品募集開始

1. 外務省及び国際交流基金は第13回日本国際漫画賞を開催することとし、作品を募集いたします。

2. 第13回日本国際漫画賞の作品募集日程は以下の通りです。

(1) 募集期間：2019年4月8日(月)から6月14日(金)(必着)

(2) 応募作品の提出先：各在外公館(除く政府代表部)及び第13回日本国際漫画賞専用私書箱

※[日本国際漫画賞 web サイト](http://www.manga-award.mofa.go.jp/) (<http://www.manga-award.mofa.go.jp/>)

3. 日本国際漫画賞は、麻生太郎外務大臣(当時)のイニシアチブを受け平成19年5月に創設された賞で、創設以来、海外への漫画文化の普及と漫画を通じた国際文化交流に貢献した漫画作家を顕彰することを目的として、毎年実施されています。

応募作品のうち最も優秀な作品に「日本国際漫画賞最優秀賞」、優秀な3作品に「日本国際漫画賞優秀賞」がそれぞれ授与されます。受賞者は、国際交流基金の招へいにより授賞式に合わせて訪日し、日本の漫画家との意見交換、出版社等への訪問、地方視察等を行う予定です。

[募集要項](https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000466487.pdf) (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000466487.pdf>)

[応募票](https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000470883.pdf) (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000470883.pdf>)

[参考1] 第13回日本国際漫画賞実行委員会の構成

実行委員長：河野太郎外務大臣

委員：白石さや東京大学名誉教授

杉山恒太郎ライトパブリシティ代表取締役社長

フレデリック・L・ショット(作家・通訳・翻訳家)

横田清小学館常務取締役

安藤裕康国際交流基金理事長

[参考2] 今後の日程

募集期間：2019年4月8日（月）から6月14日（金）

結果発表：2019年12月頃

授賞式：2020年2月頃（予定）

[参考3] 日本国際漫画賞のwebサイト (<http://www.manga-award.mofa.go.jp/>)



● 「AKI&KUNIKO お琴ギターコンサート」の開催

国際交流基金主催による標記コンサートが以下のとおり開催されます。日本の伝統楽器である琴と西洋楽器のクラシック・ギターによる情熱的なハーモニー演奏をお楽しみ下さい。

日時：6月6日（木） 19:00～

会場：Palácio Nacional da Ajuda, Sala dos Serenins（離れ）

住所：Calçada do Mirante à Ajuda 10^a, Lisboa

入場：無料

お問い合わせ：cultural@lb.mofa.go.jp, 213110560（日本大使館広報文化班）

URL：<http://www.palacioajuda.gov.pt/>（アジュダ宮サイト）



●ドキュメンタリー映画「Terra」の上映

当地在住の日本人映画監督、鈴木仁篤氏と Rossana Torres 氏の共同監督によるドキュメンタリー映画「Terra」が下記の通り上映されます。詳細については下記お問い合わせ先並びに URL を参照下さい。

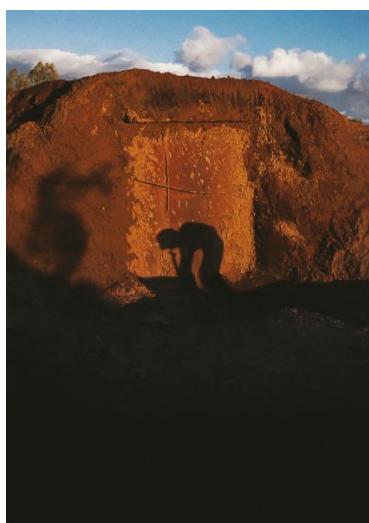
日時：6月20日（木）～26日（水） 21:15～

会場：Cinema IDEAL

住所：Rua do Loreto, 15/17 1200-241 Lisboa

お問い合わせ：cinemaideal@cinemaideal.pt / 21 099 82 95

URL：<http://www.cinemaideal.pt/>



●「日本祭り」の開催

今年で第9回目を迎える恒例の「日本祭り」(Festa do Japão)が、下記のとおり開催されます。今回は、昨年のオリエント地区から会場を移し、ベレン地区ヴァスコ・ダ・ガマ庭園にて開催の予定です。和太鼓・三味線コンサート、武道デモンストレーション等の他、たなばたや日本食屋台など様々なプログラムで皆様のご来場をお待ちしています。ぜひお誘いあわせの上、日本の夏祭りの雰囲気をお楽しみ下さい。

日時：6月22日（土）

会場：Jardim Vasco da Gama, R. Vieira Portuense, Lisboa

入場：無料

お問い合わせ：cultural@lb.mofa.go.jp、21 311 0560（日本国大使館広報文化班）

プログラム：

14:00 武道デモンストレーション

15:40 和太鼓演奏 (by 朋郎)

16:15 開会式

- 16:45 コスプレショー
- 17:15 三味線&歌唱 (by 一川響&望月あかり)
- 18:00 リスボン日本語補習授業校の生徒による踊り
- 18:25 和太鼓演奏 (by 金刺敬大 with Taiko Enishi)
- 19:05 たなばたクイズ
- 19:50 コスプレデモンストレーション (ソロ)
- 20:10 和太鼓演奏 (by 朋郎)
- 20:50 三味線&歌唱 (by 一川響&望月あかり)
- 21:15 和太鼓演奏 (by 金刺敬大 with Taiko Enishi)
- 21:50 盆踊り



●山本宗平絵画展～ポルトガル 無数の詩～の開催

日時: 6月28日(金)～8月31日(土)

会場: Centro Cultural de Cascais (カスカイス文化センター)

住所: Av. Rei Humberto II de Itália, 2750-642 Cascais

入場無料

●講演会「日本食文化」の開催

ポルト大学ユニヴェルシダーデ・ジュニオール(中高生向けサマーコース)の「にほんごクラス」において、在ポルトガル日本国大使館の広報文化担当・岩波由佳書記官による講演会「日本食文化」が行われます。使用言語はポルトガル語、入場は無料です。

日時: 7月3日(水) 14:00～15:30

会場: Anfiteatro Nobre, Faculdade de Letras da Universidade do Porto

(ポルト大学文学部講堂)

住所: Via Panorâmica, s/n 4150-564, Porto

お問い合わせ: ujr@reit.up.pt

URL: <https://universidadejunior.up.pt/>

●「日本語能力試験」の開催

国際交流基金と日本国際教育支援協会の主催による「日本語能力試験」(JLPT)が下記の要領で実施されます。詳細については下記のサイトをご参照いただくか、下記までお問い合わせ下さい(※願書受付はすでに終了しました)。

日時: 7月7日(日)

会場: Faculdade de Letras da Universidade do Porto (ポルト大学文学部)

住所: Via Panorâmica, s/n 4150-564, Porto

お問い合わせ: jlpt@letras.up.pt (ポルト大学文学部)

URL: https://sigarra.up.pt/flup/pt/web_base.gera_pagina?p_pagina=1021530 (ポルト大学文学部サイト)

(報告)

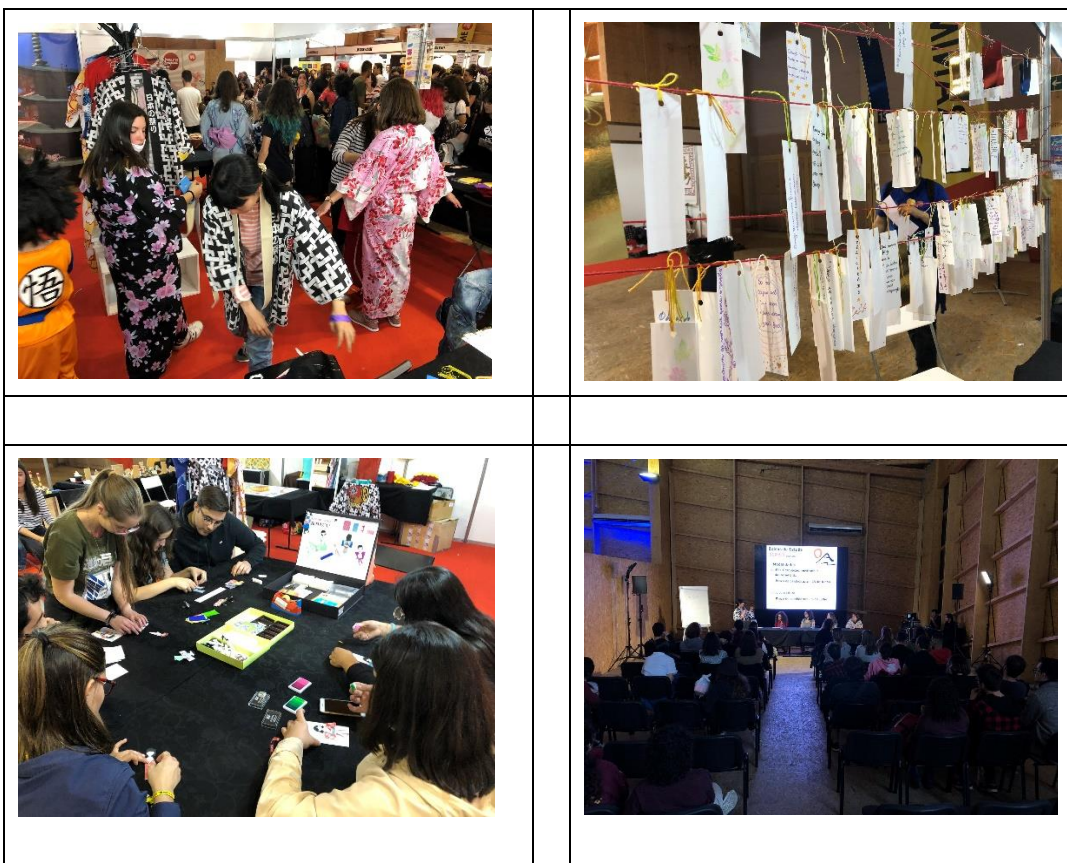
●コインブラ大学における書道ワークショップ

5月8日(水)、コインブラ大学文学部語学センターの主催により、当館広報文化班による書道ワークショップが開催されました。参加者の多くが日本語の学習者であり、並々ならぬ日本文化への好奇心と目を見張るばかりの上達ぶりに、大変有意義な文化交流ワークショップとなりました。



●IberAnime LX 2019における日本文化紹介

5月18日(土)、19日(日)、アニメ、マンガ、コスプレ他日本のポップカルチャーをテーマとしたイベント「IberAnime LX 2019」において、日本大使館による折り紙、書道(名前書き)、風呂敷、浴衣、伝統玩具、たなばた等の日本伝統文化紹介及び日本政府奨学金説明会が行われました。会場は、J-POPカルチャーファンで大いに賑わい、日本広報・文化紹介の恰好の機会となりました。



●新美大使による日本・ポルトガル関係にかかる講演

5月30日(木)、ポルトガル日本友好協会主催(ルジアダ大学後援)による日本・ポルトガル関連セミナーにおいて、新美大使は、日・ポルトガル関係にかかる講演を実施しました。特に近年の日本とポルトガルの経済関係を中心に講演し、日本の経済外交について紹介する恰好の機会となりました。



(お知らせ)

●「国際ユース作文コンテスト」作品募集

公益財団法人「五井平和財団」の主催により、「2019 度国際ユース作文コンテスト」(財団創立 20 周年特別企画)が行われます。同コンテストの今年のテーマは、「優しさがあふれる社会をつくる」となっています。詳しくは下記 URL を参照下さい。

応募締切:2019 年 6 月 15 日 (土)

お問い合わせ : essay@goipeace.or.jp, Tel: +81 3 3265 2071

URL : <https://www.goipeace.or.jp/work/essay-contest/>

●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えて Eメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jpまでご連絡下さい。

4. 領事関係

(1) 百歳以上の長寿者調査 (ご協力をお願い)

日本政府は、毎年「老人の日」(平成 13 年までは「敬老の日」)の記念行事として、百歳以上の長寿者の状況について「記者発表」を行うと共に、百歳を迎える日本人の方に対し、その長寿を祝いかつ多年にわたり社会の発展に寄与してきたことを感謝し、内閣総理大臣からのお祝い状及び記念品の贈呈を実施しています。

海外に在留している日本国籍保持者の方も調査・贈呈の対象となりますので、該当される方、又は該当者をご存じの方は、当館までご連絡いただきますようご協力をお願いします。

(2) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、[ポルトガル国内での転居](#)、[日本への帰国](#)、[他国への転出等](#)、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてに E-mail にてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

(3) 第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様が、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登

録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には、是非「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使館・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

(4) 海外に住んでいても、国政選挙への投票が可能に！

在外投票を行うには、在外選挙人名簿に登録され、あらかじめ在外選挙人証を取得しておく必要があります。在外選挙登録申請手続きについてはこちらをご参照下さい。：
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/flow.html>

(5) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975 E-mail：consular@lb.mofa.go.jp